



# 国際会議 海外派遣・留学 主要外国人の来訪 国際協力協定 余剰兵器解体プルトニウム処分協力

## 1. 国際会議

### 1.1 国内

期 間	開 催 場 所	会 議 名 及 び 内 容
2003年 11月10～12日	東 海	「JNC/FZK（独国カールスルーエ研究所）高レベル廃棄物管理に係る技術会合」
11月11～12日	も ん じ ゅ	「JNC/DOE（米国エネルギー省）透明性及びワイヤレス・コミュニケーションに関するワークショップ」

### 1.2 国外

期 間	開 催 場 所	会 議 名 及 び 内 容
2003年 10月6～9日	英国 リズレー，セラフィールド	「JNC/BNFL（英国原子燃料会社）乾式再処理技術に関する技術会合」
11月5～7日	仏国CEA パリ，サクレー研究所	「JNC/CEA（仏国原子力庁）シミュレーションコード専門家グループ会議」
11月27～28日	韓国 大田市	「JNC/KAERI（韓国原子力研究所）高レベル放射性廃棄物地層処分に係る研究協力会議」
12月3日	仏国CEA サクレー研究所	「JNC/CEA 先進技術協定に基づく調整会合」
12月4～5日	仏国CEA サクレー研究所	「JNC/CEA 放射性廃棄物処分分野における専門家会合」
12月8日	英国 セラフィールド	「JNC/BNFL 先進技術協定に基づく運営グループ会合」
12月8～9日	スイス チューリッヒ	「JNC/NAGRA（スイス放射性廃棄物管理共同組合）TRU廃棄物処分研究開発に係るワークショップ」
12月10日	スイス ベルン	ベルン大学との高アルカリ水と岩盤との影響試験研究に係る研究調整会合
12月15～18日	カザフスタン共和国 クルチャトフ	「JNC/NNC（カザフスタン共和国国立原子力センター）EAGLEプロジェクト第20回技術会議」

## 2. 海外派遣・留学

期 間	派 遣 ・ 留 学 先	目 的
2003年10月～2004年9月	米国 カリフォルニア大学バークレー校	2003年度海外派遣研修
2003年10月～2004年9月	JNC パリ事務所	欧州原子力関連情報の収集及び関係機関との連絡・調整業務
2003年10月～2005年3月	オランダ Nuclear Research and Consultancy Group (NRG)	振動充填燃料開発に係る共同研究

期 間	派 遣 ・ 留 学 先	目 的
2003年11月～2004年10月	仏国CEA グルノーブル研究所	SIMMER IIIコードの研究開発に係る共同研究
2003年11月～2006年11月	JNC ワシントン事務所	米国原子力関連情報の収集及び関係機関との連絡・調整業務

### 3. 主要外国人の来訪

訪 問 日	訪 問 場 所	訪 問 者
2003年10月31日	東 京	仏国ビュガ長官
2003年11月7日	東 海	露国フローピンラジウム研究所(KRI) アンダーソン副所長
2003年11月28日	も ん じ ゅ	OECD/NEA エチャベリ事務局長
2003年11月28日	東 京	露国MINATOMベツツエフ原子力局長
2003年12月15日	東 京	米国DOE マグウッド原子力科学技術局長

### 4. 国際協力協定

特になし

### 5. 余剰兵器解体プルトニウム（解体プル）処分 協力

(1) 3体デモ照射は、ロシア原子炉科学研究所（RIAR<sup>\*1</sup>）との共同研究契約に基づき、2003年4月から1体の燃料集合体の照射後試験を実施している。非破壊試験は終了（データ整理中）し、現在燃料ピンの破壊試験を実施している。

(2) BN600安全解析は、ロシア物理エネルギー研究所（IPPE<sup>\*2</sup>）との共同研究契約に基づき、BN600<sup>\*3</sup>のハイブリッド炉心化に際しての安

全性について評価及び解析を実施している。

(3) RIAR施設整備は、RIARとの共同研究契約に基づき、BN600ハイブリッド炉心へ燃料供給する設備の改造を実施している。

\* 1) RIAR : Research Institute of Atomic Reactors 原子炉科学研究所

\* 2) IPPE : Institute of Physics and Power Engineering 物理エネルギー研究所

\* 3) BN600 : Buistrui Neutron (Fast Neutron) 600 ロシアの高速原型炉

（本社：国際・核物質管理部）